

第10回 認証産業活用の在り方検討会 議事概要

1. 日時：令和8年2月26日（木） 13:00～15:00
2. 場所：経済産業省別館11階 1120会議室及びオンライン会議室（Teams）
3. 出席者：松橋委員長、浅田委員、加藤委員、牟田委員、山口委員、石毛委員、森内委員、石井委員、近藤委員、半田委員、藤原委員、湊委員、山本委員
（委員全13名中、本人出席13名）
オブザーバー：一般財団法人日本規格協会、国立研究開発法人産業技術総合研究所、内閣府知的財産戦略推進事務局
4. 議事概要

事務局による資料2及び資料3に基づく説明後に、各委員より討議が行われた。主な意見は下記のとおり。

【認証機関】

- ・ 国内認証機関の枠組構築に賛同するとともに、国内認証機関間の協業促進、認証産業の活動方針策定にあたって積極的に貢献していきたい。
- ・ 国内認証機関の枠組構築にあたって、産業界の期待に沿うことに加え、国や認定機関への提言の際に有効に機能する形である必要。
- ・ 個別の認証機関における広報活動には限界があると実感しており、共通的な課題については国内認証機関間で連携し、活動領域が補完し合える形を目指したい。
- ・ 個々の国内認証機関が国外でも戦える力を付けることが重要で、そのためには国内認証機関の連携だけではなく、国内でそれぞれが競争しつつ力を付けていく必要。
- ・ 産業界とのコミュニケーションをより一層深め、日本企業の競争力向上、ひいては日本の国益に資するように産業界のニーズに応じていきたい。
- ・ 産業界の認証ニーズの把握に努めるとともに、その認証ニーズを満たすために必要な新規事業の立ち上げにあたっては産業界と協力して取り組みたい。

【認定機関】

- ・ 国内認証機関の枠組構築は認証制度全体の信頼性・透明性の向上に寄与するというJACの目的に合致するものであり、JACとして是非協力していきたい。

- ・ 国内認定機関として産業界に対しても情報提供や技術支援を進めていきたい。
- ・ 各種 MRA は階層構造（政府間・認定機関間・認証機関間）含め一体的に情報提供するのが望ましく、JAC として対応を進めていきたい。

【産業界】

- ・ 国内認証機関の枠組構築に賛同するとともに、活動目標や理念を明確にした上で実効性のある活動を産業界と連携しながら推進することを期待。
- ・ 国内認証機関の枠組構築により認証産業全体が見える化されるとともに、国内認証機関の横連携による対応の拡大に期待。
- ・ 国内認証機関の枠組構築において認証産業全体としての課題認識が明確になるとともに、産業界と業界同士の対話が進むことを期待。
- ・ 産業界は国内認証機関を活用したいと考えているが実際には活用が進んでいない現状を変えていくためには、産業界と国内認証機関の双方の歩み寄りが必要。
- ・ これまで産業界から国内認証機関への相談が十分にできていなかったことを改めて認識した上で、今後は国内認証機関と対話を深めていきたい。
- ・ 産業界の認証ニーズが高まっていく中で、国内認証機関とは双方の活動状況の共有から連携を進めていきたい。
- ・ 国内認証機関の強化をキーワードに業界団体内で具体的な認証ニーズをとりまとめて具現化し、速やかに認証・認定機関に示した上で取組を進めていきたい。
- ・ 認証産業の基盤整備における国内認証機関の情報提供については、既存情報の共有に加えて規制動向等のプロアクティブな発信に期待。
- ・ 将来的には省庁横断で認証産業と産業界が対話できるような枠組を検討してはどうか。

以上